


## 一般質問通告書

次のとおり、質問したいので通告します。

令和2年 5 月 19 日

山北町議会議長 府川 輝夫 殿

受付番号	第5号	質問議員	1 番	瀬戸恵津子 
件名	新たな避難所対策を			
要 旨				
<p>新型コロナウイルスは、私たちの生活を一変させている。健康被害の拡大や地域医療の崩壊を食い止めるために、外出自粛し密集・密閉・密接を避け、人と人との距離をとるため生活を変え取り組んでいる。</p> <p>この状況のもと大型台風が襲来した時には、従来の避難所運営では、避難者や避難所運営職員の命が守れなくなる懸念がある。そのため早急に避難所の感染症対策を準備しておく必要がある。</p> <p>そこで質問する。</p> <p>①避難者個人の持ち物となるマスク等衛生用品は、備蓄品としても備えるべきだが、職員や支援する方のための防災ガウン、手袋、キャップ等は使い捨てのためかなりの数量が備蓄されなければならない。また間仕切り等の段ボールもかなり必要となるが現状と今後について伺う。</p> <p>②社会的距離をとるため、多くの場所が必要となる。学校関係も体育館のみでは、間隔が取れない。施設管理者との調整は進められているか。</p> <p>③妊婦、乳幼児、障がい者、高齢者、介助の必要な方等一般避難所に入りにくい方のために、町独自の福祉避難所の準備は重要な事だが考え方は。</p> <p>④避難所が増えると運営にかかわる人の配置も従来とは変わってくる。自主防災組織の方以外に、運営を指導支援する職員や地域のボランティアを組織し、難しい時期だが机上訓練等をビデオ電話等通信機器により計画すべきと考えるがどうか。</p>				

⑤災害ボランティアセンターの開設は想定されているか。被災が予測される状況時に開設するが、新型コロナウイルス感染拡大により各地で活動していたボランティアが地域に入れない状況と聞く。他地域からの流入が自粛されている今こそ、町民の協力が必要と考える。回覧板、HP等で啓発できないか。令和元年度に講座があったが組織化への道筋はつけられているか。